

# 松阪市子ども支援研究センターだより

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」TEL 26-1900 FAX 26-1901 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp  
松阪教育支援センター「うれしの教室」TEL 42-7374 FAX 42-4568 E-mail: uresino-k@matsusaka.ed.jp

## 毎日の積み重ねが

W杯ブラジル大会が終了して早一ヶ月余りが経ちました。期間中幾多の話題が生まれた大会でしたが、その中で、「試合後の雨の中でゴミ拾い」のニュースを覚えている方も多いと思います。

日本代表は6月15日（日本時間）、ブラジル北東部のレシフェにおいてグループリーグ初戦をコートジボワールと戦い、1-2で逆転負けをしました。その報道とともに私たちに伝えられたのが、雨の中、アフリカの強豪に手痛い敗北を喫した直後のスタンドで、日本サポーターがゴミ拾いをする姿、そして、外国のメディアがそのマナーの良さを称賛しているという記事でした。

その記事を目にして、日本人が世界から称賛されるのは喜ばしいことだと思いました。今回の「ゴミ拾い」の記事から、いくつか考えてみました。

一つは、私たちは環境教育として、就学前の時期からリサイクル、ゴミの分別など多くのことについて日々教えているということです。日本が見本としている環境先進国のドイツ国民やスウェーデン国民の環境に対する意識や行動にはまだまだ及ばないと言われているものの、遠足の時には、「来た時よりも美しく」と子どもたちに指導し、環境にやさしい学校づくりを推進する学校環境ISOに取り組んだり、「捨う子は捨てない」をスローガンにして美化運動を地域とともに進めている学校があったり、今や私たちが小さい時から比べると、日本人全体が格段に環境について行動できるようになってきたと思います。

もう一つは、マナーについてです。日本以外のいくつかの国では、ゴミは会場に放置、セルフサービスのお店でもトレイやお皿は机においたままというのが当たり前という国があるそうです。その理由は、「ゴミ拾い・掃除を生業とする人の仕事をとってはいけない」という考えが浸透しているからだそうです。ですから、今回の「ゴミ拾い」についてもマナー違反だという意見があったことについては、文化が違えばマナーも変わるのだと驚かされました。私たちは、小さい頃から「他人に迷惑をかけてはいけません。」「思いやりの心を持ちなさい。」と繰り返し教えられてきました。ですから、自分が出したゴミは他人にとっては迷惑な物であるので自分で片付けるというのが当たり前です。こういった日本的なマナーは、日常生活の中では「この頃マナーが悪くなったなあ。」とってしまうような場面に出くわすこともあります。みんなの心には根付いているのでしょう。東日本大震災の時、救援物資をもらうのに年寄りから子どもまで騒がずにきちんと行列を作って、自分の順番まで待っていたという姿に現れたりします。

そして、これらのことは「教育」に負うところが大きいと思います。「教育」は、日々の確実な積み重ねがあってこそ、成り立つものであると言われています。あいさつ、言葉遣い、登下校の仕方、授業中の姿勢、返事の仕方、友達とのかかわり、基礎学力の定着などなど。その時その時で、ダメなものはダメと指導し、より良いと思われることをきちんと教える。そして、日々その繰り返しです。しかし、この日々の積み重ねがなによりも子どもたちの心に根付く、確かな教育につながると考えています。

9月が始まります。薄い紙を積み重ねるように、日々、より良いと思われることをきちんと教えていく私たちの活動が始まります。

(山本 嘉)

## 研修講座報告 ①

終了した研修講座の様子を受講者された方の声からお届けします。

### C-4 初任者研修

(5月22日)

#### 「郷土の偉人ゆかりの地を訪ねる」

講師 寺嶋 昭洋 先生

- ・本居宣長や松坂城について、知っていそうで知らないことがたくさんありました。子どもたちに松阪の良さを伝えていく上で、もっと自ら勉強していきたいと思います。
- ・自分たちが住んでいるところの偉人について、また、歴史ある建物について、詳しく説明していただきました。

### C-1 コーディネーター研修Ⅰ 「特別支援教育コーディネーターの役割について」

(5月27日)

講師 伊達 隆 先生

- ・短時間でコーディネーターとしての役割、大事なことを教えていただきました。これから動けそうに思います。
- ・今年度は、グループ別交流の時間があり、本当によかったです。いろいろ教えていただき、気持ちが楽になりました。

### A-3 算数

(6月3日)

#### 「思考力・表現力を高める算数授業

-算数のよさ、考える楽しさを味わう授業づくり-

講師 細水 保宏 先生

- ・教えたい場づくりを教師がつくっていく大切さを学びました。子どもたちの良いところを常に見て、伝えていく先生の姿勢、明日からでも見習い実践していきたいと思います。
- ・明日からすぐ使えることを教えていただき、楽しく学べました。

### B-16 乳幼児教育Ⅰ

(6月14日)

#### 「歌遊び・リズムゲーム」

講師 鈴木 寿子 先生

- ・歌を歌ったり、体を動かしたりするうちにだんだん楽しくなってきました。初めての曲もいっぱいあったので、また実践してみたいと思いました。自然と笑顔になることができました。
- ・2時間半あっという間でした。子どもたちと“これはできるな！”と思ったのもあるので、ぜひ月曜日から遊んでいきたいと思います。

### A-10 外国語活動/外国語

(6月20日)

#### 「外国語活動の成果と課題、そして、これから」

講師 直山 木綿子 先生

- ・あらゆる場面で、“How many” が意識づけされていて、何度も自然な形で子どもたちに入っていて、とても計画性を持って先生が進めてみえるのが、とても勉強になりました。
- ・今後の“英語教育”について知ることができてとてもよかったです。

B-7 健康教育  
(7月3日)

「ひろがる・つながる・ふかめあう 歯口の健康づくり」  
講師 石黒 幸司 先生

- ・「三重県は、1人平均DMF指数が悪い」というような言われ方をしていましたが、「1つの尺度では判断できない」と言われたのが印象的でした。2つの尺度を使って、集団を正しく捉えていきたいです。
- ・答えを教えるのではなくヒントを与えて自ら考えられるよう工夫して保健指導を行いたいと思います。

B-17 乳幼児教育Ⅱ  
(7月5日)

「五感イキイキ！心と体と生きる力を育てる食育」  
講師 小川 雄二 先生

- ・「味見当番」初めて聴き、びっくりしたとともに、とてもいい取り組みだと思いました。
- ・子どもにとって大切な食育のしくみや実践例を挙げて教えていただき、とても分かりやすかったです。園の子どもたちに楽しい食事環境を作れるよう見直したいと思いました。

B-4 外国人児童生徒教育  
(7月7日)

「私たちがフィリピンとフィリピン人に学ぶこと」  
講師 津田 守 先生

- ・自分が多文化共生教育を子どもたちと行っていく際に考えておかなければいけないポイントなどが、先生のお話の中にあっただと思いました。
- ・広い視野を持つこと、立場がかわれば見方が変わる。改めて自分がどう向き合うかが大切だと思いました。

B-10 危機管理  
(7月25日)

「ゲーム機・スマートフォン等の利用実態に対応した指導のあり方」  
講師 長谷川 元洋 先生

- ・情報モラルを指導するにあたり、大切なポイントや時期などを、はっきり認識することができました。今後の指導に活用したいと思います。
- ・「良き教師は、未然に指導をおこなう」という言葉が心に残りました。

A-7 家庭/技術家庭  
(7月28日)

「包丁の研ぎ方とだしのとり方で  
おいしい和食をつくりましょう」  
講師 村林 新吾 先生

- ・いつも、おいしい料理を教えてくださいました。包丁の研ぎ方・だしのとり方を、家庭科の授業や実生活で生かしていきたいと思います。
- ・スタッフとして活動してくれた高校生のみなさんの礼儀正しさに感心させられました。そして、パワーをいただきました。

B-14

特別支援教育 I 「幼児期から青年期の自閉症スペクトラム障害

:発達段階ごとの特徴の理解と支援の基礎」

(7月28日)

講師 十一 元三 先生

- ・丁寧に説明をしていただき、系統づけて学ぶことができました。事例を比較しながら、1 ステージ先を見て学校は取り組む必要があるということがよくわかりました。
- ・子ども支援を行う上で、学校の役割がとても重要である実感できる講座でした。

A-5

音楽

「〔共通事項〕が見える子どもがときめく

音楽授業づくりの実際～からだを軸にして～」

(7月29日)

講師 高倉 弘光 先生

- ・音楽の授業の中に、言語活動をどう生かしていくかが分からなかったのですが、今回の講義を受けて、実践していけることが見つかりました。
- ・共通事項をもとに、楽しく授業することのヒントをたくさん学ぶことができました。
- ・授業で「子どもが考える・動くこと」は、大切だと感じました。

A-9

道徳

「子どもの心を育てる道徳授業づくり」

(7月30日)

講師 鈴木 健二 先生

- ・道徳の授業には、毎回頭を悩ませていましたが、今回の講座を聴き、授業してみたいと思いました。朝終活や道徳の時間が楽しみになりました。
- ・授業は、日々の積み重ねだということが実感できました。身近な素材を見つけられるよう、アンテナをしっかりと立て、9月の授業に備えたいと思います。

B-1

授業力向上 (学力向上・授業づくり)

「子どもたちに学ぶ喜び・わかる楽しさを実感させる授業改善・校内研修」

(7月31日)

講師 倉田 浩子 先生 飛岡 美穂 先生

- ・「国語で学んだことをほかの教科で活かす」ということを、改めて意識していきたいです。
- ・校内研修を創っていく研修担当として、今回の講座はとっても刺激になり、9月から「ここを工夫しよう」「ここが課題だな」と自分を見つめるよい機会となりました。

B-8

学級づくり I

「日本一ハッピーな学校を作ろう～個々が伸びる学級経営～」

(8月1日)

講師 金 大竜 先生

- ・教師として自分はどうなのかと自問する日が毎日続き、しんどかったのですが、今日の「自分は自分でいい」というお話を聞き、心が軽くなりました。元気をいただきました。
- ・実際にクラスを作っていく途中の場면을映像で見せてもらうことができ、よかったです。